

乳 癌

(臨 床 講 義)

教授 醫學博士 磯部喜右衛門講述

助手 醫學士 山 根 齋 筆 記

患者。佐○タ○。42歳。

遺傳的關係並ニ既往症。何レモ特ニ述ベル程ノモノハナイ。子供ハ 5人アル。

現在症。今カラ約 7ヶ月以前ニ患者ハ右側乳房ノ外上4分ノ1ノ部ニ小指頭大ノ固イ腫物ガアルノニ氣付ヒタガ、何等ノ苦痛モナカツタノデ放置シテキタ。トコロガコノ腫物ハ漸次増大シテ鶏卵大トナツタノデ今カラ 1ヶ月前ニ手術ヲウケタガ(切開手術ラシイ)、ソノ手術創ハ少シモ治癒シナイバカリデナク腫物ハ却ツテ増大シテ今日ニ及ンデキル。マタ腫瘍發見後間モナク右側腋窩ニモ小指頭大ノ固イ腫瘍ヲ觸レルコトガ出來タ。之モ亦漸次増大シテ今日ニ及ンデキル。

現在所見。體格中等、營養中等、皮下脂肪織ノ發育尋常。脈膊ハ 1分時約60、大サ、緊張共ニ正常デアル。心臟ノ濁音界、心音等ニ異常ハナイ。肺モ亦打診の聽診的ニ特ニ述ベル程ノモノハナイ。腹部臟器ニモ何等ノ異常モ認メラレナイ。四肢ニモ凡テ異常ガナイ。

局所々見。右側乳房ハ左側ニ比シテ著シク大デアル。ソノ上外4分ノ1ノ部ニ鵝卵大ノ腫瘍ガアツテ、ソノ中央部ニ不規則ナ形ノ潰瘍ガアル。周圍ノ皮膚ハ帶狀ニ稍青紫色ニ着色シテキルガ、靜脈擴張ノ著シキモノハ認メラレナイ。潰瘍ノ表面ニハ不規則ナ凹凸ガアツテ、ソノ大半ハ灰白色ノ苔デ蓋ハレテキル。觸診スレバ局所ニハ僅ニ體温ノ上昇ガアル。腫物全體ハ拳大以上アツテ弾力性硬、粗凹凸デ、コノ觸診ノ間ニ潰瘍面カラ漿液性液ガ浸出スル。コノ腫物ハ皮膚ト癒着シテ殆ド移動セズ、大胸筋トハ僅ニ移動シ、胸廓壁ヨリハ良ク移動スル。周圍ノ皮膚モカナリニ廣ク浮腫性ニ膨レテ固クナツテキル。更ニ右側ノ腋窩ニハ胡桃大ノ弾力性硬ノ淋巴腺腫張ガイクツカ集ツテ存在シ、又鎖骨上窩ニ於テモ小指頭大ノ同様ニ固イ腫張ガ二、三アル。共ニソノ上ヲ蓋ツテキル皮膚ニハ異常ヲ認メナイ。又共ニ皮膚及ビ基底カラヨク移動スル。

サテ之ハ何デアルカト言フニ、婦人ノ乳房ニ來タ腫瘍ノ中、其頻度ノ最モ多イモノトシテ先ヅ第一ニ癌腫ヲ考ヘネバナラスコトハ勿論デアル。發病來長イ經過ヲトツテ居ルバカリデナク、切開シテモ治癒セズニ却ツテ腫瘍ガ段々ニ大キクナツテ來ルノデアルカラ急性炎症デナイコトハ明ラカデアル。又慢性炎症性ノ腫瘍トシテモ結核ハ反應ノ少キモノ故ニ

スル大キナ腫瘍ヲ造ルモノデハナイ。又護謨腫トシテモ潰瘍ヲ造ツテ居ルニモ拘ラズ、其面ニハ護謨腫ニ特有ナ豚脂様物質モ見エズ、尙腫瘍ハ壞レテ小サクナル形跡モナク、却ツテ段々ニ増大シテユクバカリデアル、又護謨腫ハ斯ク典型的ノ淋巴腺轉移ヲ造ルモノデハナイ。慢性間質性乳腺炎ノ時ニハ屢々乳腺内ニ1個或ハ數個ノ硬イ腫瘍ヲ形成スルモ、結締組織ノ收縮ヲ來ス爲ニ永イ經過ノ間ニハ小サクナル様ナコトガアツテモ此患者ノモノノ様ニ段々ニ大キナルモノデハナイ。尙又コノ腫瘍ハ轉移ヲ造ツテキルカラ良性ノ腫瘍デナイコトハ明ラカデアルガ、惡性ノ肉腫ハ乳房ニ原發スルコトハ甚ダ少ク、且ツ其硬度ハ此患者ノモノノ様ニ硬イモノデハナク、又腋窩、鎖骨上窩ナドト系統的ニ硬イ淋巴腺ノ轉移ヲ作ルモノデハナイ。

サテ乳癌ハ多クノ子供ニ乳ヲ與ヘタ人、殊ニ乳腺炎ヲ病ンダコトノアル人ニヨク來ルモノデアル。又其部位ハ何故カ外上4分ノ1ノ部ニ最も多イモノデアル。

乳癌ハ病理組織學上色々ノ型ヲ以テ現ハレテ來ルモノデアルガ之ヲ大別スレバ次ノ3種ニ分類サレル。

(1) 髓様癌。(2) 硬性癌。(3) 膠様癌。

硬性癌ハ結締織内ニ癌腫細胞ガ散在性ニ存在スルモノデアツテ、結締組織ガ收縮スル爲ニ甚ダ硬ク、且ツ皮膚ト固ク癒着シテ之レヲ索引シ、其結果皮膚表面ニ凹凸ガ生ジテ橙皮様ニナルコトガアル。又乳頭ガ罹患部ニ引カレテ凹ムコトモアル。時ニハ全體ガ收縮シテ、健康側ニ比シテ乳房ハ著シク小サクナリ、乳頭ノ位置ガ高クナツテタルコトモアル。之ハ經過ノ甚ダ遅イモノデアツテ5—10年位モ經過シテ居ルニモ拘ラズ鶏卵大位ノママデ存在スルコトガアル。又轉移モアマリ造ラヌモノデアル。若シ漸次周圍ニ擴ガツテユクト鑑様ニ胸部全體ガ固クナツテクルコトモアル。

膠様癌ハ間質結締織ニ、更ニ進メバ癌細胞ニモ膠様變性ヲ起シテ來ルモノデアツテ、爲一ツノ剖面ハ寒天様ニ半透明トナル。之ハ稀ナモノデアルガ、癌腫トシテハ比較的良性ノモノデアツテ、轉移ヲ作ルコトモ少イモノデアル。

髓様癌ハ細胞ガ多ク、比較的軟デアル。急激ニ増殖シ又早期ニ皮膚ヲ破ツテ惡臭ヲ發スル潰瘍ヲ作ル。又腋窩淋巴腺等ニ轉移ヲ作り易ク、終ニハ其處ノ血管、神經ヲ壓迫シテ上肢ノ神經痛トカ浮腫ナドヲ起シテクルモノデアル。コノ類ノモノハ最も惡性デアツテ手術ヲ行ツテモ再發シヤスイモノデアル。

乳癌ノ淋巴腺轉移ハ第一ニ大胸筋ノ外縁デ、腋窩ト乳嘴トノ中間ニ位スル部ニ、第二ニハ腋窩ニ、第三ニ鎖骨下窩ニ、第四ニ鎖骨上窩ニ來ルノガ常デアル。尙乳腺ノ内上4分ノ1ノ部ニ癌腫ガ出來タトキニハ屢々他側ノ腋窩ノ淋巴腺ニ轉移ヲ作ルモノデアルカラ注意セネバナラス。

コノ患者ノ癌腫ニハ收縮症狀ハ殆ト認メラレズ、却ツテ増殖ガ甚ダ急激デアツテ且早期ニ轉移ヲ作ツテキルカラ髓様癌ト診斷スベキデアル。

處置。乳腺ノ切斷ヲ行ヒ、大胸筋ヲ全部切除シ、ソシテ腋窩及ビ鎖骨上下窩ノ淋巴腺ト脂肪組織トノ清淨法ヲ行ハネバナラス。尙場合ニヨツテハ小胸筋モ切除シタ方が便利デアル。コノ際腫瘍周圍ノ皮膚ハ思ヒ切ツテ廣ク切除セネバナラス、腋窩ニ於ケル再發ヨリモ局所ノ皮膚ニ再發ヲ來スコトハ甚ダ多イモノデアル。